

II 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	福祉対策措置	清水町立第1保育所運営事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		清水町	
交付金事業実施場所	上川郡清水町北2条1丁目		
交付金事業の概要	清水町立第1保育所人件費 保育士6名分		
総事業費	7,086,800 円	交付金充当額	4,971,000 円
		うち文部科学省分 うち経済産業省分	4,971,000 円
交付金事業の成果及び評価	<p>①地域経済が低迷しており、共働き世帯の増加がみられる中で、育児と就労の両立支援を行い、特に乳児(10ヵ月)から低年齢児(3歳未満)までの保育、一時保育、障がい児保育及び延長保育等、保育ニーズに即した保育体制整備のための保育士の確保により保育の充実を図ることができた。11月末現在の児童数は96人。待機児童なし。</p> <p>②縦割り保育(異年齢保育)により、自主性や社会性を身につける機会を増やすことができた。</p> <p>③へき地保育所の統廃合に伴い、農村地区から保育所までの通所タクシーの運行(保育士添乗)を実施し、通所にかかる保護者負担軽減と児童の安全送迎が確保された。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	保育士人件費	雇用	—
			7,086,800 円
			円
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無 特に予定なし。			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方 今後も、若い世代が安心して働き、子育てができる環境を維持するため、引き続き本交付金により事業を進めていく予定である。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			なし。

- (備考)
- 事業ごとに作成すること。
 - 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数位を用いて記載すること。
 - 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - 成果及び評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 - 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見直し等について記載すること。